



## 遠山 法幸さん 由紀子さん

# 僕たちが野菜を作っているのではなく、 畑の土や水を含めた自然が 野菜を育してくれる。

箕面市栗生間谷の農地を含む3ヵ所の農地で、僕と妻と僕の80歳の母と妻のお母さん、弟の5人で楽しみながら農作業をしています。小松菜・ミズナ、芽キャベツ、ほうれん草、赤軸ほうれん草、日野菜（小松菜の仲間で古くから尾張地方で作られていた伝統野菜）等の珍しい野菜も含め、約35種類の野菜を栽培しています。

箕面市は僕たちのような新規農家にとって、地産地消をはじめとして野菜づくりに最高な環境です。市、農協、先輩農家の方から多くの細やかなアドバイスを頂きました。大変心強いですし、感謝しています。

**地力がある畑だからこそ、  
土や水が美味しい野菜を作ってくれる。  
僕たちは、野菜作りのお手伝いを  
しているだけ。**

現在の畑は広大な農地に囲まれながらも、ずっと何も栽培されず放置されていた畑を開耕して作りました。その為、初めの頃は野菜作りと言うより、土木作業という感じでした。先輩農家の方から「水路をしっかりと掘つておいた方が良いよ。」とアドバイスを頂いたので、長年経験した土木関係の知識を活用して畑の水路を深く掘り起こした後に、畑を耕しました。その後、

立派なビーマンが収穫できるようになり、近所の方から「よく頑張ったね」と言つて頂いた時には感動して涙が出ました。

また、頑張って畑を作ったことは、他にも良い結果を生み出しました。それは、ずっと使われていなかつた土地だからこそ、地力があり、僕たちがたとえ失敗しても、土や自然が修正してカバーしてくれます。他にも数ヵ所で畑を耕していますが、この数年放置されていた畑が一番育ちがいいですね。

**美味しい野菜を作るためには、  
やっぱり土づくりと水。**

畑の土に海藻、竹パウダー、米ぬか、カニの殻、魚粉等を混ぜた有機栽培をしています。土にはミミズがたくさんいます。

数年前に香水の香りがするバラが売り出されていました。これは、香水を混ぜた水を吸わせたことで作られたバラでした。このことからも、野菜が吸い上げる水はとても重要だと思つています。だからこそ栽培する水にもこだわり、川エビ、サワガニ、ホタルが生息するような綺麗な川の水を使用しています。時には、畑に川エビが飛び跳ねているなんてこともありますよ。その上、この畑は自然に囲まれていて空気が綺麗で日当たりも抜群ですので、とても環境に恵まれていると思います。

## 農業を始めたきっかけ。

小学2年生の頃から庭先で野菜を作っていました。代々農業をやっていたわけではないので、手探りで家の庭先にて家庭菜園を始めました。当時、自分が育てた野菜を親にプレゼントした時にとても喜んでくれたことがきっかけでそれから野菜作りを一人で行うようになります。



## 昔ながらの農法で野菜を作っています。

できるだけ農薬を使わずに自然の力を活かしてんとう虫やカマキリ、いも虫を食べててくれる蜂や鳥を味方にした環境づくりを心がけて野菜づくりをしていました。



由紀子さんとお母様の永田美恵子さん

ます。ご近所の農家さんは、「どうして農薬を使わずにこんなに害虫被害がないの?」とよく言われます。  
(主人はバッタと格闘に明け暮れる日もあります。)

**野菜嫌いな人が美味しいと言つて  
食べられる野菜を育てたい。  
美味しいと言われるほどやつてよかつた。**

もともと野菜が苦手です。だからこそ、僕が食べても美味しいと思える野菜を育てたいと思っています。栽培方法や品種選びはとても気にしています。日本国内や海外の栽培方法も参考にしています。また3つ星レストランで使われている野菜の栽培方法などを教わり、野菜嫌いな人でも美味しく食べられる野菜作りをしていますので、美味しいと言われるとやつていてよかつたなと思います。

今後も応援してくださっている皆様に応えていく為に、日々美味しい野菜作りを心掛けていきます。